



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

上場会社名 株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン 平成28年8月4日
 コード番号 3319 URL http://www.golfdigest.co.jp 上場取引所 東
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石坂 信也
 問合せ先責任者 (役職名) 最高財務責任者 (氏名) 酒井 敦史 (TEL) 03-5408-3188
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 平成28年8月25日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績 (平成28年1月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	9,232	9.4	384	△0.0	390	1.5	227	26.1
27年12月期第2四半期	8,435	13.8	384	—	385	—	180	—

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 217百万円 (21.3%) 27年12月期第2四半期 179百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	12.76	12.52
27年12月期第2四半期	11.82	11.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第2四半期	8,633	5,041	58.4	280.92
27年12月期	9,174	4,882	53.2	274.97

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 5,039百万円 27年12月期 4,879百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	5.50	5.50
28年12月期	—	3.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,600	8.6	900	8.7	890	9.0	450	4.6	25.09
	～20,300	～12.5	～1,050	～26.8	～1,040	～27.4	～600	～39.4	～33.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無
 (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期2Q	17,938,800株	27年12月期	17,746,600株
② 期末自己株式数	28年12月期2Q	43株	27年12月期	43株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期2Q	17,827,846株	27年12月期2Q	15,255,015株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融証券取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成28年1月1日～平成28年6月30日）における経営環境は、中国をはじめとする新興国、欧州経済の先行きへの懸念が強い中で、国内経済の回復への動きは緩慢であり、また個人消費は、名目賃金の伸び悩みや消費者マインドの低下等から横ばいでの推移が続いております。

インターネットを取り巻く環境は、スマートフォンやタブレット等のモバイル端末の普及が進み、モバイル端末やソーシャルメディアを情報基盤とした各種サービスやコンテンツが広がりを見せております。ゴルフ市場における一般消費者の需要スタイルも、モバイル端末、ソーシャルメディアの普及を受けて、大きく変化しております。

このような環境下、当社グループは、当期を「第二創業期」のスタートと位置づけ、まずは初心に立ち戻り、ゴルフ専門のITサービス企業として、圧倒的な情報量とゴルフに特化したサービス力強化を推進してまいりました。特に成長著しいモバイル端末向けサービスは引き続き最重要テーマとして捉え、徹底的に強化・改善に努めております。また、当期は「冒険」をテーマとして、既存事業の着実な成長とともに、海外展開、新規事業への着手を視野に、さらなる成長のための新しい取組みを積極的に行っております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は過去最高となる9,232百万円（前年同期比9.4%増）、将来成長のために先行投資を行った結果、営業利益は384百万円（前年同期比0.0%減）と前年並みとなりましたが、経常利益390百万円（前年同期比1.5%増）及び、親会社株主に帰属する四半期純利益227百万円（前年同期比26.1%増）は過去最高の結果となりました。

主要セグメント別の業績は次のとおりであります。

『リテールビジネス』

当第2四半期連結累計期間における当ビジネス部門の業績は、売上高6,466百万円（前年同期比9.7%増）、売上総利益1,503百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

モバイル端末向けサービスの向上をはじめとしたお客様の利便性を高める取組みの強化や、お客様のニーズを的確に捉えた商品の品揃えと販売促進活動等を継続的に実施し、売上高は前年実績を上回りました。また、継続的に取り組んでいる仕入・販売管理手法の改善と最適化により、収益性を維持し売上総利益も前年を上回っております。

『ゴルフ場ビジネス』

当第2四半期連結累計期間における当ビジネス部門の業績は、売上高2,387百万円（前年同期比10.7%増）、売上総利益1,941百万円（前年同期比13.1%増）となりました。

継続的に取り組んでいるアプリケーションを含むモバイル端末向けサービスの向上施策により、PCに加えモバイル端末を経由したビジター数が増加しました。更に、ゴルファーのニーズに対応した予約サービスの提供により、ゴルフ場への送客人数を伸ばすことができました。特に5月のゴルフ場への月間送客人数は過去最高を記録しました。また、事前決済型予約サービスも引き続き好調に推移した結果、前年に比べ増収増益となりました。

『メディアビジネス』

当第2四半期連結累計期間における当ビジネス部門の業績は、売上高367百万円（前年同期比6.9%増）、売上総利益287百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

広告受注が堅調に推移し、売上高、売上総利益ともに前年を上回る結果となりました。コンテンツの充実に注力し、引き続き集客力を高めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ540百万円減少し、8,633百万円となりました。また、負債は前連結会計年度末に比べ699百万円減少の3,592百万円となり、純資産は前連結会計年度末に比べ159百万円増加の5,041百万円となりました。

主要な勘定残高は、GolfTEC Enterprises, LLCとの資本業務提携等により、投資その他の資産が233百万円増加しましたが、入金が進んだことで売掛金が150百万円、償却等によりソフトウェアが166百万円それぞれ減少したほか、支払に伴い買掛金が192百万円、短期借入金が250百万円、未払法人税等が90百万円、賞与引当金が56百万円それぞれ減少しました。利益剰余金は配当金の支払により97百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上227百万円により129百万円の増加となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度と比較して484百万円減少し2,356百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、255百万円の収入（前年同期は550百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益390百万円、減価償却費325百万円、売上債権の減少150百万円等による資金の増加が、仕入債務の減少192百万円、その他の流動負債の減少141百万円、法人税等の支払228百万円等による資金の減少を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、428百万円の支出（前年同期は194百万円の支出）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出216百万円、無形固定資産の取得による支出162百万円、有形固定資産の取得による支出37百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは311百万円の支出（前年同期は227百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の返済250百万円、配当金の支払96百万円等による資金の減少が、新株予約権の行使による株式の発行による収入39百万円を上回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期の連結業績予想につきましては、平成28年2月8日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

平成28年12月期の中間配当について、平成28年5月9日開催の取締役会において、平成28年6月30日の株主名簿に記載された株主に対し、1株当たり3.00円の配当を行うことを決議いたしました。なお、当期の年間配当につきましては、当初の予想どおり1株当たり6.00円としております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定により取得価額の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57条-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(有形固定資産の減価償却の方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,841,062	2,356,654
売掛金	1,944,129	1,793,176
商品	2,025,242	2,009,270
仕掛品	1,189	1,265
貯蔵品	16,587	16,517
その他	412,593	390,240
貸倒引当金	△2,798	△2,538
流動資産合計	7,238,005	6,564,586
固定資産		
有形固定資産	247,587	259,903
無形固定資産		
ソフトウェア	804,339	638,306
その他	177,618	238,057
無形固定資産合計	981,958	876,363
投資その他の資産		
その他	711,573	941,385
貸倒引当金	△4,747	△8,411
投資その他の資産合計	706,826	932,973
固定資産合計	1,936,372	2,069,240
資産合計	9,174,378	8,633,826
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,562,200	1,369,221
短期借入金	1,000,000	750,000
未払法人税等	232,788	142,124
賞与引当金	83,072	27,001
ポイント引当金	187,614	185,040
株主優待引当金	14,076	10,335
その他	1,135,082	1,024,564
流動負債合計	4,214,834	3,508,287
固定負債		
役員退職慰労引当金	53,746	60,244
資産除去債務	12,466	13,621
その他	11,039	10,326
固定負債合計	77,252	84,192
負債合計	4,292,087	3,592,480

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,404,770	1,424,516
資本剰余金	2,392,922	2,412,668
利益剰余金	1,084,329	1,214,203
自己株式	△9	△9
株主資本合計	4,882,013	5,051,377
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,276	△12,110
その他の包括利益累計額合計	△2,276	△12,110
新株予約権	2,554	2,079
純資産合計	4,882,290	5,041,346
負債純資産合計	9,174,378	8,633,826

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	8,435,930	9,232,070
売上原価	5,044,762	5,496,330
売上総利益	3,391,168	3,735,740
販売費及び一般管理費	3,006,311	3,350,986
営業利益	384,856	384,754
営業外収益		
受取利息	97	306
受取配当金	1,094	696
不動産賃貸料	6,661	5,989
その他	2,943	4,899
営業外収益合計	10,797	11,890
営業外費用		
支払利息	4,869	1,795
支払手数料	4,377	—
その他	1,110	3,910
営業外費用合計	10,357	5,706
経常利益	385,296	390,938
特別利益		
投資有価証券売却益	—	67
新株予約権戻入益	1,447	—
特別利益合計	1,447	67
特別損失		
固定資産除却損	—	485
特別損失合計	—	485
税金等調整前四半期純利益	386,743	390,521
法人税、住民税及び事業税	82,030	134,940
法人税等調整額	124,380	28,101
法人税等合計	206,411	163,041
四半期純利益	180,332	227,479
親会社株主に帰属する四半期純利益	180,332	227,479

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	180,332	227,479
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△835	△9,833
その他の包括利益合計	△835	△9,833
四半期包括利益	179,497	217,645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	179,497	217,645

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	386,743	390,521
減価償却費	310,745	325,700
のれん償却額	2,612	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	259	3,404
賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,000	△56,071
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,498	6,498
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△7,884	△2,574
株主優待引当金の増減額(△は減少)	1,091	△3,740
受取利息及び受取配当金	△1,191	△1,002
支払利息	4,869	1,795
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△67
売上債権の増減額(△は増加)	102,423	150,952
たな卸資産の増減額(△は増加)	36,484	15,966
仕入債務の増減額(△は減少)	△148,483	△192,978
その他の流動資産の増減額(△は増加)	13,717	△8,153
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△46,368	△141,597
その他	△4,952	△4,622
小計	634,564	484,030
利息及び配当金の受取額	1,191	1,003
利息の支払額	△4,771	△1,884
法人税等の支払額	△82,560	△228,063
法人税等の還付額	2,194	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	550,619	255,085
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,239	△37,351
無形固定資産の取得による支出	△131,384	△162,486
投資有価証券の取得による支出	△14,403	△216,840
投資有価証券の売却による収入	—	130
敷金の差入による支出	△29,745	△11,893
貸付金の回収による収入	428	428
その他	△10,727	△365
投資活動によるキャッシュ・フロー	△194,071	△428,377
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200,000	△250,000
長期借入金の返済による支出	△75,100	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	39,016
リース債務の返済による支出	△1,056	△3,340
配当金の支払額	△36,751	△96,792
自己株式の売却による収入	85,895	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△227,013	△311,116
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	129,533	△484,408
現金及び現金同等物の期首残高	702,602	2,841,062
現金及び現金同等物の四半期末残高	832,136	2,356,654

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。